

あなたのボランティア活動を応援する情報誌だよ！



R5. 5. 1
128号

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キューポ・ラ本館棟M4階
かわぐち市民パートナーステーション内
TEL：048-227-7640 FAX：048-227-7641
<http://www.kwgc-borasen.jp/>

ぼらんていあ川口

青少年 ボランティア部 の紹介

ボランティア部は、中学生以上概ね25歳までのかたを対象に2022年10月8日（土）から始まった新しい活動です。活動内容は、部員同士で話し合いながら決めていきます。内容によって変更になる場合がありますが、毎月第2土曜日の14時から活動しています。

ボランティア部の部員に参加したときの感想を聞いてみました。

- 初めてカーレットを体験して、誰もが楽しめるスポーツで楽しかった。
- 世代間交流ができて楽しかった。またやりたい。
- どこに投げればよいか、仲間と考えながら行った。結構、頭を使う競技。良い経験ができた。

- 聴覚障がい者と初めて会って、何が不便で困っているのかが理解できた。
- 初めて手話体験を行った。良い経験になった。
- 今度、実際に手話を使って、聴覚障がい者と話してみたい。



▲『1月の定例活動』
高齢者・障がい者 vs ボランティア部 カーレット対決



▲『2月の定例活動』聴覚障がい者から手話を習っている様子

皆さんも関心がありましたら、右記の二次元コードからぜひ部員に登録してください。



【令和5年度 青少年ボランティアスクール】開催のお知らせ

夏休みに、施設やボランティア団体でボランティア体験をしませんか。

対 象：川口市内在住・在学・在勤の中学生以上で概ね25歳までのかた
(18歳未満のかたは保護者の同意が必要)

申込期間：6月3日（土）13時～6月20日（火）17時まで

体験期間：7月22日（土）～8月13日（日）

内容の詳細については、右記の二次元コードをご覧ください。

※場合によっては、内容の変更や中止とさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。





川口芝つながる食堂

団体紹介

今回は、子ども食堂を開催する川口芝つながる食堂を紹介します。
代表の田口さんにお話を伺いました。

★具体的な活動や発足の経緯について

地域の子どもの居場所づくりをしようと思い立ち、かわぐちボランティアセンターに相談しました。そして仲間を集め、ホームページや書籍で調べ、地域の子ども食堂を見学し、川口芝つながる食堂を2021年11月に発足。その後、子ども居場所づくり講座を受講し、2022年5月から毎月1回開催しています。活動内容は、お弁当の配布、フードパントリー、お楽しみコーナーの3本立てで活動していましたが、3月から誰もが気軽に話せる「つながるカフェ」もオープンしました。



▲会場入口ウェルカムボード

★活動をしていてよかったこと、コロナ禍で工夫していることは



▲本日のお弁当カレーライス

子どもたち、利用者の皆さんの笑顔や喜びの声にふれることが喜びです。また、地域の福祉を支える多くの団体やボランティアのかたがたが熱意をもって活動される姿にふれ、触発されるとともに喜びを感じています。

また、コロナ禍での工夫は、手指消毒、アクリル板を立てて飛沫防止、お楽しみコーナーは短時間でできるものにしていきます。(じゃんけんゲーム・折り紙・「食品衛生すごろく」など)

★今後の具体的な方針

「つながるカフェ」では、悩みごとや困りごとを語れる場所となってほしい。ケースにより相談機関につなげていきたいと考えています。

また、お弁当配布ではなく、コロナ感染症の様子をみながら会食形式にしていきたいと思っています。そして、町会や児童センター、地域のボランティア団体と協力イベントも開催できたらと思います。

また、「川口芝つながる食堂」が高齢者や障がい者を含め地域の人々が交流できる居場所にしていき、将来的には、月1回の開催をさらに増やしていきたいと思っています。

～見学レポート～

3月の日曜日の昼ごろ、「川口芝つながる食堂」の活動のようすを「芝樋ノ爪町会会館」で見学させていただきました。

会場は、JR蕨駅から徒歩10分弱の住宅街にあり、地域のかたがたのコミュニティとなっています。児童センターや保育所など、子どもにかかわる施設が隣接する地域です。

私たちが到着した11時半には、スタッフの皆さん14名でミーティングが行われていました。すでに会場は利用者に配られるお弁当や食料品・日用品などの準備が整い、利用されるかたがたを待つばかりです。ただし、この場所での開催は初めてであり、告知が不十分だったのではとの不安もあり、やや緊張があるようにみえました。



▲ミーティングの様子

正午になると父子連れや兄弟の中学生、母子連れなどが絶え間なく訪れました。案内板を見た通りがかりの人たちの飛び入り参加もありました。

受付を終えて会場をリラックスして回る利用者の姿を見てスタッフの皆さんの緊張も和らいだように感じました。この日に向けての献立づくり、お楽しみ会の内容、会場の設営方法など細部にわたり検討を重ねたとのことでした。



▲食品衛生すごろくの様子

気になるお弁当は、会場の厨房で作ったカレー70食、お楽しみはスタッフの女子高校生と一緒に『食品衛生すごろく』遊び、『カフェコーナー』も設けられています。

今後は会食形式にすることで、お弁当にする手間が省け、より交流に力を入れられることをめざしていることがうかがわれます。



ボランティアを募集しています！

- ☆団体名 川口芝つながる食堂
- ☆活動場所 芝樋ノ爪町会会館
- ☆活動日 月1回(第3日曜日)
- ☆連絡先 080-5477-7657
(代表：田口)

○見学を終えて・・・

『子ども食堂』は「子どもの居場所づくり」として欠かせないものになりつつあります。活動を維持・継続するためにはボランティアがいないと成り立たないのが現状のようです。地域や多くのかたの理解・支援が必要であることを改めて感じました。



かわぐちボランティアセンターに登録している子ども食堂の団体紹介



団体名	活動場所	活動日	連絡先
特定非営利活動法人こどもの家わか	並木地区内	毎週土曜日のお昼の時間	090-6194-2802
NPO 法人こどもの居場所づくり in かわぐち	戸塚地区(戸塚公民館)・安行地区(じりんハウス)	毎週第3水曜日(戸塚公民館)・毎週第1土曜日(じりんハウス)	048-295-8738
みんなの食堂 Flat	西青木5-1-40 さいわい診療所虹のテラス	第3土曜日 11:45～	080-6895-4533
川口芝つながる食堂	芝樋ノ爪1-12 芝樋ノ爪町会会館	第3日曜日 11:00～12:00	080-5477-7657



※ボランティアセンターでは、9団体の登録団体があります。詳しくは、ボランティアセンターにお問い合わせください。

ボランティア広場

日本語を覚えたい外国人のかたに日本語を教えるお手伝いをしてみませんか。

どなたでも参加可能です。(資格はいりません)

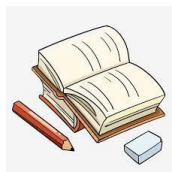


＜川口自主夜間中学＞

① 日 時 毎週火曜日 18:00~20:00
場 所 かわぐち市民パートナーステーション
(川口 1-1-1 キョウ・ラ本館棟 M4 階)

② 日 時 毎週金曜日 18:00~20:00
場 所 幸栄公民館
(幸町 3-8-33)

①②連絡先 090-2402-4365
(担当 林さん)



＜神根ふれあい日本語広場＞

日 時 毎週日曜日 13:00~15:00
場 所 神根公民館(神戸 29)
連絡先 090-9399-5047
(担当 見方さん)



令和5年度 福祉教育推進員ボランティア養成講座を 開催します！

市内の学校や地域などで車いす・アイマスク・高齢者疑似体験の福祉体験学習の協力をするボランティアの養成講座です。

対 象：平日の活動に参加でき、毎月第1火曜日の定例会に参加できるかた

日 時：令和5年7月4日(火) 10:00~12:30

場 所：青木会館 1階(青木3-3-1)

申 込：かわぐちボランティアセンター 048-227-7640



使用済み切手ご協力のお礼



市内郵便局、企業、個人など様々なかたからのご支援により、令和4年度の使用済み切手の換金額は30,850円となりました。このお金は、ぼらんていあ川口の発行などで、大切にに使わせていただきます。引き続きボランティアセンターでは、使用済み切手のみの収集を行います。切手は、周囲を約1cm以上の余白を残してお持ちください。

編集後記

ぼらんていあ川口の編集に参加したばかりの新米編集員です。さまざまなボランティア団体取材し、応援し、紹介する活動に少しでもお役に立てればという思いです。3年に及びコロナ禍での異常事態が収束しつつあり、ようやく平穏な日常が戻りつつあるようでほっとします。しかし、この数年間でさまざまな問題が浮かび上がり、生活に困窮する高齢者やひとり親世帯の増加もみられているようです。

今回は、芝樋ノ爪町会会館で毎月1回開催されている子ども食堂に伺いました。本号では、地道に活動を支えるボランティアのかたを紹介します。こういった活動を通して、沢山の笑顔が生まれるとよいですね。

(ぼらんていあ川口編集員H.K)